



富山県 株式会社ノースランド
「～スマイルプレゼント～県内施設に
お菓子の贈呈と笑顔をお届け」事業



株式会社ノースランド
専務取締役
澤田 修宏さん



施設を訪問して、子どもたち一人ひとりにプレゼントを手渡し

誰もがハッピーな社会を
目指して地域に貢献する

お菓子と笑顔をお届けするスマイルプレゼント事業

1975年に創業した株式会社「ノースランド」は富山県魚津市に本社を置き、現在、富山県内に23ホールを展開している。パチンコが今後も身近で手軽に喜ばれる大衆娯楽として親しまれるために、企業として社会貢献活動に取り組むとともに、社員一人ひとりが会社での成長を通して地域社会に貢献できるよう日々、努力を重ねていく、この姿勢を象徴するのが、「スマイルプロジェクト」と呼ばれる企業理念が実感できるプロジェクトへの取り組みである。

このプロジェクトは、ノースランドの全スタッフが社会に誇れる企業を目指してさまざまな活動に取り組むというものだが、その一つとして進めているのが「スマイルプレゼント」である。これはホール店内に設置した寄付ボックスに、お客様が賞品として受け取ったお菓子を入れ、それを回収・箱詰めして県内にある児童養護施設、老人養護施設、知的障がい児通園施設などの県内11か所の福祉施設と魚津市内の保育園に、毎月、順番に届ける活動である。同時に毎月、東日本大震災の被災地にも届ける活動を続けている。

また、スマイルプレゼントは単にお菓子をお届けだけではなく、施設を訪問したスタッフが、紙芝居や絵本の読み聞かせ、ダンス、マジック、ものまねショー、ペットボトルボーリングなどのさまざまな催し物を通じて、子どもや高齢者と直に触れ合う時間を持っていることが特徴である。この訪問には、ノースランドがオフィシャルユニフォームスポンサーを務めるプロバスケットボールチームの「富山グラウジーズ」の選手が同行することもある。

2010年10月に始まったスマイルプレゼントは、以後、毎月継続して実施されており、昨年末で56回を数えるまでになった。これまでにこの訪問活動に参加した従業員は、述べ500名以上となっている。施設の子どもたちとバレーボールを通じて触れ合ったあるスタッフは、「何よりも各人が本気でバレーに取り組み、本気で楽しんでいる



元気やま Mascotキャラクター「きときと君」と一緒に記念撮影



スタッフの動きに合わせて子どもたちも大はしゃぎ

姿はとても素晴らしく、非常に感銘を受けた。『やってよかった』、『元気を与えることができた』と確信できた瞬間でした』と、コメントを寄せている。

地域や行政から評価が高いスマイルプロジェクト

また、自分たちでお菓子をお届けのほかに、NPO法人「フードバンクとやま」が進めるフードドライブ事業に共感し、同法人を通じて福祉施設や福祉団体へもお菓子の寄付を行っている。

フードドライブとは、家庭で余っている食べものを学校や職場などに持ち寄り、それをまとめて地域の福祉団体や施設などに寄付する活動である。日本ではまだ馴染みの薄い言葉だが、フードバンク発祥の地・アメリカでは1960年代からボランティア活動の一環として盛んに行われている。そうした縁もあり、昨年2月に富山市で開催された「フードバンク活動フォーラム～いっしょにMOTTAINAIをつなげよう」に招かれ、スマイルプレゼントについて発表・報告する機会を得た。

こうした活動が地域社会や行政から高く評価され、訪問先の福祉施設の卒業生から活

動に参加したいという希望が寄せられたり、入社の問い合わせを受けたりしているという。また、富山県からは県内企業として初めて、元気やま Mascotキャラクター「きときと君」の着ぐるみの貸出許可を得ている。

さらに、ノースランドではスマイルプロジェクトとして、車いす利用者や身体の不自由な方々に心おきなく遊技を楽しんでもらおうと、富山県身体障害者福祉協会車椅子部会が主催するレクリエーション大会の一つにパチンコ大会を提案し、会場のホールと景品の提供を行っている。このほか、「ピカピカとやま一斉清掃運動」への参加や、ブルタブと車いすを交換して施設に寄付するブルタブ収集活動、ペットボトルのキャップをリサイクル業者に買い取ってもらい、その売却益で世界の子どもたちにワクチンを届けるエコキャップ収集活動などに取り組んでいる。



北陸新幹線開業に向けて実施された一斉清掃運動に参加したスタッフたち